

		チェック項目	回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	はい	余裕を持ったスペースの確保、人員配置が来ている。送迎でスタッフが抜ける時間にも見守りを行うスタッフを十分に配置している。 施設内に段差などなく、スムーズに出入りが出来る。
	②	職員の配置数は適切であるか	はい	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPCDAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	どちらともいえない	日々の朝礼・終礼で情報共有や支援内容の振り返りを行っているが、定期的なミーティングを行う時間を確保できていない。朝礼・終礼に参加できないスタッフもいるため、全員での話し合いの時間の確保が難しい。 定期的な事業所内研修(防災・救急・虐待防止・身体拘束・感染症・専門研修等)の実施や自立支援協議会等が開催する外部研修へ参加している。また参加できないスタッフへ向けて施設内で伝達講習などを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価をするとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	はい	
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価票の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	どちらともいえない	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	どちらともいえない	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	はい	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画を作成しているか	はい	多職種間でカンファレンスを行い、振り返りと今後の課題について分析し、個々の支援計画書を作成している。 日々の活動については、季節の行事を取り入れた活動を中心に行っている。年中行事や外での活動を通して季節を感じてもらえるようにスタッフ間で話し合いを行っている。話し合った内容などを共通認識出来るよう努め、目標をもって活動が出来るように工夫している。 毎日、朝礼で申し送り事項の確認を行うとともに、その日の活動の流れなど、支援の内容や役割分担について確認し、職員間で共有できるようにしている。 毎日、終礼で一日の振り返りを行っている。また、日報を作成し、職員間で共有できるようにしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	どちらともいえない	
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	はい	
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	はい	
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	はい	
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	はい	
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	はい	
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	はい	
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	はい	
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	はい	

	⑱	定期的にモニタリングを行い児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	はい	定期的にモニタリング会議を実施し、支援内容の振り返りと分析、計画書の見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	はい	担当者会議に積極的に出席し、保護者や各関係機関との情報共有を行っている。 情報共有については保護者からの場合が多いが、他事業所とも連携を密にすることで、ご利用者様の現状や課題等について情報共有出来ている。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関を連携した支援を行っているか	はい	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関を連携した支援を行っているか	はい	医療的ケアが必要な子どもが利用する際には主治医に指示書を依頼しており、不明な点があれば確認をおこなっている。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	はい	トラブル等の時にはスタッフの周知を迅速に行い、問題解決に繋げると共に今後の対策についてスタッフ間で協議している。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	どちらともいえない	相談支援専門員やご家族や他事業所を通して情報共有を行なっている。
	㉕	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	どちらともいえない	保育所への移行や小学校入学に向けて、ご本人・保護者様のご意向に沿った支援が出来るように、関係事業所や相談支援専門員と連携を図り、現状の共有と今後の課題や支援の方針などについて相互理解を図っている。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	はい	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	どちらともいえない	近所の保育施設まで散歩に行った際には、子どもや動物とのふれあいを行なっている。今後定期的な交流会などを企画していきたい。
	㉘	（自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	どちらともいえない	他事業所のご利用者様との交流の機会を設けている。 自立支援協議会が主催する研修会や会議に参加し、他事業所との情報交換を行っている。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	はい	送迎時にご家族と、ご自宅やデイサービスでの体調や活動内容等について情報共有を行っている。
		㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	はい
保護者への説明責任等	㉛	運営規定、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか。	はい	契約の際に、契約書とパンフレットを用いて説明を行っている。不明点が有ればいつでも質問して頂き、返答している。
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	はい	児童発達支援計画については初回の利用時までに作成し、説明し同意を得ている。

保護者への説明責任等	③③	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	はい	<p>現在は、保護者会を出来ていない。今後、社会情勢等を踏まえ、再開していきたい。 保護者が望む場合など必要に応じて保護者同士が連携をとれるように支援している</p> <p>支援内容等に関する質問やご意見をいただいた際には、迅速に返答するように努めている。</p> <p>毎月お便りを作成し、デイサービスでの活動の様子を写真でもみていただけるようにしている。</p> <p>個人情報の取り扱いについては、事業所外に情報を持ち出さないように配慮するとともに、写真等の掲載に関しては事前に許可を得た媒体でのみ使用している。</p> <p>個々の子どもに応じて適切なコミュニケーション方法（声、サイン、代替コミュニケーション機器）についてご家族や学校との情報共有を行なっている。</p> <p>ハロウィン等の行事の際に、地域の方にご協力を頂いたり、お散歩の時等近くの店や施設へ立ち寄る等、地域交流の機会を持てている。</p>
	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	どちらともいえない	
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	はい	
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	はい	
	③⑦	個人情報に十分注意しているか	はい	
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	はい	
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	どちらともいえない	
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	どちらともいえない	<p>各種マニュアルを作成しており、マニュアルに従って対応している。緊急時の対応方法については、契約時に保護者に確認し、緊急対応カードを作成しており、定期的な見直しを行っている。消防署の指導の下、避難訓練を行っている。</p> <p>身体拘束という目的ではないが、安全確保のため、必要に応じてベルトによる固定を行なっている。虐待に繋がるようなケアが行われないうちに、職員間で互いに注意し合いながら子どもたちと関わっている。</p> <p>自立支援協議会(春日市)が開催する『虐待防止・身体拘束』研修に出席すると共に、出席し出来ないスタッフへの伝達講習を行うことで、スタッフの意識を高めている。</p> <p>アレルギーの有無は、保護者からの聞き取りを行って対応している。</p> <p>ヒヤリハットについては、報告書を作成し、ミーティングを通して対応方法を振り返り、改善策について話し合っている。</p>
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	はい	
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	はい	
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	はい	
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	はい	
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	はい	
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	はい	